

# 第55回東京都道場少年剣道大会要項

(個人戦・団体戦)

## 1、日時

令和8年4月29日(水・祝)・開館午前9時・開会9時45分

## 2、場所

調布市西町290番11

「京王アリーナTOKYO」

交通アクセス→京王線「飛田給駅」下車徒歩9分

## 3、主催(一財)全日本剣道道場連盟

## 4、主管 東京都剣道道場連盟

## 5、後援((財)日本財団)

## 6、参加資格

- 東京都剣道道場連盟登録団体で同団体の登録門下生であること。
- 本試合参加のための臨時選手は出場出来ません。臨時選手が判明した場合は、失格と致します。
- 過去の大会において、道場連盟に加入していない道場・他県遠隔地の剣士を門下生として出場させ、連盟に苦情の申し出がありました。公平性を保つ上で決まりを厳守して下さい。

## 7、個人戦

- ①小学生男子の部
  - ②小学生女子の部
  - ③中学生男子の部
  - ④中学生女子の部
- 各部門4名まで

## 8、団体戦

~(※小学生Aクラスの部及び中学生の部は3人制・但し小学生Bクラスは5人制)~

- ①小学生Aクラスの部(4年生以上・3人制)
  - ②小学生Bクラスの部(4年生以下・5人制)
  - ③中学生の部(3人制)
- 各部門4チームまで

※男女混合可

※全国大会は、3人制です。

※小学生Bクラスの部は、全国大会の出場はありません。

## 9、表彰

### ①個人戦

トーナメント方式により優勝、準優勝、第三位、敢闘賞を決定する・

三位決定戦を行います。

### ②団体戦

ア、小学生Bクラスの部は、5人制としトーナメント方式により優勝、準優勝、第三位（2チーム）を決定する。

イ、小学生Aクラスの部及び中学生の部は、3人制としトーナメント方式により優勝、準優勝、第三位（2チーム）を決定する。

## 10、試合方法（試合・審判規則及び判定制の導入）

○「全日本剣道連盟試合・審判規則及び同細則」及び「本大会申合せ事項」により行う。

○ 試合は、個人戦及び団体戦いずれも3本勝負、試合時間は2分間とする。

### ①個人戦

各部門とも時間内に勝敗が決定しない場合は、準決勝までは、延長戦1回（2分）を行った後、判定とする。

但し、決勝戦及び三位決定戦は、時間内に勝敗が決しない場合は、一本勝負にて時間を2分間ごと区切りながら延長を3回行い、それでも勝敗が決しない場合は判定とする。

### ②団体戦

各部門とも時間内に勝敗の決しない場合は、引き分けとする。

但し、勝敗数、取得総本数が同数の場合は、任意の選手による代表者戦を行う。

代表者戦は一本勝負にて行い、時間内に勝敗が決定しない場合は、準決勝までは、延長戦1回（2分）を行った後、判定とする。

但し、決勝戦及び三位決定戦は、時間内に勝敗が決しない場合は、一本勝負にて時間を2分間ごと区切りながら延長を3回行い、それでも勝敗が決しない場合は判定とする。

## 11、試合（応援・進行等）に関すること

### ○ [試合前]

・「相互の礼」の合図の後に、声だし・ハイタッチ等を行わないで下さい。

・試合会場には、登録選手、監督、引率責任者以外は入れません。

### ○ [試合中]

・応援は拍手のみとし、監督の声を出しての指示、指導は厳禁とします。

### ○ [試合後]

・試合終了後は、速やかに試合会場から退出して下さい。

・試合の進行上、試合場を変更する場合があります。監督の承諾を確認した上で放送等にて変更会場の案内をします。

各試合場の後半になっている団体は進行状況を確認して下さい。

1 2、剣道用具等の安全確認について

各道場の監督は、竹刀の破損・中結の位置、面紐の長さ・結び目の位置を確認して安全に努めること。

1 3、目印、名札及びメンバー表

①目印（たすき）は、各団体で準備すること。

②名札は、団体名及び名字を明記したものを着用すること。読めないような書体は着用しないこと。  
なお、団体名と名前が一枚になっていること。

団体名の部分を巻いて使用する通称「帯名札」「巻き名札」は認めない。

「帯名札」等を使用して試合に出た場合は、不戦負けとする。

③メンバー表は、各団体で準備すること。

なお、試合開始前までに自らが出場する試合場に提出すること。

※ サイズ（5人制）

	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将	← 7 cm
道 場 名						↑ 2 0 cm ↓

←	7 9 cm	→
---	--------	---

※ サイズ（3人制）※A3の横

	先 鋒	中 堅	大 将	9. 7 cm
道 場 名				↑ 2 0 cm ↓

←	4 2 cm	→
---	--------	---

1 4、服装等

①剣道着衣、袴とする。剣道着の袖に全日本剣道道場連盟指定のワッペンを着用のこと。  
ワッペンの着用がない場合は、失格となります。なお、色等は昨年度と異なります。

②竹刀は、小学生の部は3尺6寸、中学生の部は3尺7寸までとする。

重量測定はしないが、規定の重量のものを使用し、鍔止めを必ず使用して受傷事故の防止に努めること。

1 5、面マスク及び飛沫防止ガード（シールド）等の着用（感染症予防ガイドライン準拠）

①試合者～口の部分を覆うシールドもしくは、面をマスクを着用すること。

なお、シールド及び面マスクの併用も可とする。

②審判員～マスクやシールドの着用は不要とする。控え室や休憩時間のマスクの着脱は本人の判断に委ねる。

③大会役員及び係員～本人の判断に委ねる。

④観覧席の応援者等～観覧席は密が予想されますのでマスクの着用を推奨するが、本人の判断に委ねる。

#### 1.6、健康保険証の携行及び安全対策

①大会において負傷等をして試合場から病院等に直行した場合、病院手続きをスムーズに行うため、選手は健康保険証を携行して参加すること。

②大会実施中に負傷等した場合は、医師又は看護師による応急手当を講じますが、病院等の治療、ワッペンに付帯している保険で対応する。

③参加チームは、道場の代表者、又はこれに代わるものが引率し、大会中の選手の健康管理及びその他すべての行動に責任を負うこと。

#### 1.7、個人情報法への対応とビデオ撮影等について

##### ①個人情報法への対応

申込書に記載される個人情報（氏名・学年・年齢等）等は、本大会運営のために利用する。

なお、氏名・学年・年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示板、ホームページ等）に公表することがある。更に、剣道の普及発展のためにマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

大会参加申込書を提出した時点で、上記扱いに関する事項は承諾を得たものとして対応する。

また、大会運営関係者（役員・委員・審判員・競技役員・関係機関・大会に関する契約をしている者等）については、上記取扱に関する承諾を得たとして対応する。

##### ②大会等におけるビデオ撮影

ア、大会等の会場で個人利用目的でビデオ撮影等を行うことは差し支えないが、不特定多数の者に公開、若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止します。

イ、大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。

#### 1.8、参加費

①個人戦の部（1名） ～ 3,000円

##### ②団体戦

・小学生Aクラスの部（3人制） ～ 9,000円

・中学生の部（3人制） ～ 9,000円

・小学生Bクラスの部（5人制） ～ 15,000円

③清掃委託費 ～ 1,000円

#### 1.9、申込方法

① 参加申込書は郵送又はメールにて下記宛てに送付する。

ア、郵送の場合

〒164-0011

中野区中央1-40-4 渡辺ビル3階 「東京都剣道道場連盟事務局」

イ、メールの場合

s y u d o k a n - d o j y o @ l u c k . o c n . n e . j p

②振込み先（参加費、清掃委託費）

三井住友銀行中野坂上支店：普通4367519 東京都剣道道場連盟・会長 中村福義

20、申込み締切日

## 令和8年4月1日(火)必着

※締め切り日以降に来る団体がありますが、組み合わせや印刷会社等の関係がありますので、締め切り日を厳守すること。

21、全国大会等について

①本大会の団体戦は、7月28日(火)29日(水)日本武道館で開催する「第60回全国道場少年剣道大会」の予選を兼ねています。

※本大会に一道場から数チーム(A・B・C・D等)参加し上位に入賞しても、全国大会に参加が出来るのは、2チームのみです。

②個人戦は、10月25日(日)岩手県花巻市で開催される「第42回全国道場少年剣道選手権大会」の予選を兼ねています。

全国大会への出場者は、小学生男子・女子、中学生男子・女子の4部門で各部門ごとに3名です。

22、その他

①竹刀・小手等の取り間違い等が多数散見されます、十分ご注意下さい。

②貴重品は、各自で保管し、盗難等に十分注意すること。

③昼食休憩はありません。

④飲食等から出たゴミ、ペットボトル、ジュースの空き缶等は必ずお持ち帰りをお願い致します。  
会場には、ゴミ箱等の設置はありません。

23、問合せ先

東京都剣道道場連盟事務局（担当：岡本）

月曜日から金曜日：午前10時から午後4時の間

TEL03(5338)8375